

平成25年度 事業計画について

平成25年3月1日

東日本電信電話株式会社

平成25年度事業計画の基本的考え方

- 次世代ネットワーク(NGN)を活用した新しいサービス・商品の提供ならびにお客様にとって“使いやすい”・“より長くご利用いただける”料金メニューの提供等を通じて、ブロードバンド・ユビキタス環境の充実と光サービスの利用層拡大に努め、豊かな社会の実現や、その持続的な発展に貢献。
- 光アクセスのより一層の拡大・利活用促進を進め、ブロードバンドネットワーク環境の更なる高度化と普及を実現していくとともに、光IP電話や映像サービスはもとより、保守・サポートまでも含めた幅広いサービスを提供することに加え、お客様にとって付加価値が高く使い勝手のよいサービスを開発・提供。
- 一層のお客様サービスの向上を図るとともに、更なる経営の効率化を図り、経営基盤の安定・強化と、将来にわたっての安定した事業の発展を期し、これら施策の成果をお客様、地域社会、更には持株会社を通じてNTT株主の皆様に還元。

サービス計画・フレッツ光ARPU・設備投資計画

■サービス計画(純増数)

(単位:万契約)

項 目	H24		H25 計画	対前年増減額
	業績予想修正	今回の修正値		
フレッツ光	40	▲25	50	+10
固定電話(加入電話+ISDN※)	▲150	±0	▲140	+10

※INSネット1500はINSネット64(10倍)換算した数値

■フレッツ光ARPU

(単位:円)

項 目	H24		H25 計画	対前年増減額
	業績予想修正	今回の修正値		
フレッツ光ARPU	5,840	+40	5,700	▲140
基本利用料	4,150	+40	3,910	▲240
付加サービス	1,690	±0	1,790	+100

■設備投資計画

(単位:億円)

項 目	H24		H25 計画	対前年増減額
	業績予想修正	今回の修正額		
設備投資額	3,900	±0	3,500	▲400

収 支 計 画

(単位:億円)

項 目	H24	今回の修正値	H25	対前年増減額
	業績予想修正		計画	
営 業 収 益	18,330	▲250	17,830	▲500
音声+IP関連収入	14,400	▲170	13,900	▲500
音声伝送収入	5,790	±0	5,120	▲670
IP関連収入	8,610	▲170	8,780	+170
その他(専用・受託等)	3,930	▲80	3,930	±0
営 業 費 用	17,680	▲250	17,180	▲500
人件費	1,100	▲10	1,080	▲20
経費	11,630	▲240	11,350	▲280
減価償却費等	4,950	±0	4,750	▲200
営 業 利 益	650	±0	650	±0
営 業 外 損 益	230	+30	150	▲80
経 常 利 益	880	+30	800	▲80

本資料及び本説明会における説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされ、もしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされ、もしくは算定したものです。

将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会における説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。